

令和5年度取組状況評価(自己評価)結果 総括

◆自己評価結果

各取組項目をA～Eの5段階で自己評価を行った結果は、下記のとおりである。

評価区分	項目	
	件数	割合 (%)
■ A：高い成果が得られた	4	15.4%
■ B：予定どおりの成果が得られた	12	46.2%
■ C：一定の成果が得られた	8	30.8%
■ D：やや不十分な成果にとどまった	2	7.7%
■ E：成果は不十分であった	0	0.0%
合計	26	100.0%

各取組項目の評価結果は、26項目中16項目がA評価又はB評価となり、60%を超える結果となった。一方で、計画どおりの取組ができなかったために、数値目標を達成できず、D評価となった取組が2項目あった。

【基本方針別の評価】

基本方針	評価区分					合計
	A評価	B評価	C評価	D評価	E評価	
I.健全な財政基盤の確立 ※「財政規律を確保するための財政指標の目標値設定」を含む	0	1	1	0	0	2
	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
II.歳入増につながる施策の創出、強化	2	4	1	0	0	7
	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
III.ファシリティマネジメントの推進	0	1	0	1	0	2
	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
IV.市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進	2	3	4	1	0	10
	20.0%	30.0%	40.0%	10.0%	0.0%	100.0%
V.時代に対応できる柔軟で連携のとれた機能的な組織づくりと人材育成の推進	0	3	2	0	0	5
	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	4	12	8	2	0	

「第3次生駒市行政改革大綱」に掲げる基本方針別にみると、全ての方針において50%以上がA評価又はB評価となっており、順調に取組が進められている。「III.ファシリティマネジメントの推進」で1項目(50.0%)、「IV.市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進」で1項目(10.0%)がD評価となっており、十分に取組が進められなかった項目があった。

I	健全な財政基盤の確立
---	------------

【取組状況】

担当課	企画政策課
取組名	事務事業の見直し

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	行政運営の効率化と市民サービスの向上を図るため、令和5年7月に事業、事務、作業、ルール、慣習などを対象に、廃止（休止）又は実施手法を簡略化・合理化すべきものについてのアンケート調査を全職員（任意回答）に対して実施し、のべ52名の職員から89件の提案があった。 各提案については担当課等と協議・整理を行ったうえで、対応の方向性も含めた調査結果として取りまとめ、庁内グループウェアにて周知を行った。		
実績・数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	見直しを行う事業数	
	目標値	16事業	
	R5実績値	0事業	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成の場合、その理由	後期行動計画において令和5年度以降は個別の事業についての見直しを予定していたが、「行政改革大綱」自体を見直すこととなったため、個別事業の見直しは実施せず、上記のとおり調査のみ実施した。		

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	C：一定の成果が得られた
評価の根拠	数値目標は達成できていないが、本市が実施している全ての事務事業等を対象に簡略化・合理化すべきものについて調査を実施することで、改善・廃止が必要な事務事業等の棚卸しと整理を行い、それらの見直しに関する方向性を提示できたため。

II	歳入増につながる施策の創出、強化
----	------------------

【取組状況】

担当課	収税課
取組名	納期内納付の推進と徴収率の向上

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	年度当初に納期カレンダーを作成して公共施設・市内各金融機関に提示し、市税納期の周知に努めた。 また、財産調査をはじめ、差押え、滞納処分等の執行停止等を積極的に行った。督促発付率が5.23%、徴収率が97.18%（決算ベース）で目標値を上回る結果となり、計画以上の速さで改善が進んだ。		
実績・ 数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	徴収率	督促発付率
	目標値	96.28%	5.8%
	R5実績値	97.18%	5.23%
	歳入増加額 （千円）	-	-
	歳出削減額 （千円）	-	-
目標値が未達成 の場合、その理由			

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	A：高い成果が得られた
評価の根拠	令和5年度から地方税統一QRコードによる市税収納が導入されたことにより、納付環境がさらに拡充され、納期内納付が進んだ。また、財産調査をはじめ、差押え、滞納処分等の執行停止等を積極的に行い、電話催告も行ったこと等により、物価高騰等の経済情勢の影響を受けながらも、徴収率、督促発付率ともに目標値を上回っていることからこの評価とした。 【参考】 ○R5年度税込 17,135,681（千円） ○R4年度税込 16,942,129（千円）

II	歳入増につながる施策の創出、強化
----	------------------

【取組状況】

担当課	商工観光課・都市づくり推進課
取組名	市内事業者増加による地域経済の活性化

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	「IKOMA LOCAL BUSINESS HUB」を開講し、創業予定者の支援を実施した。		
実績・ 数値目 標	指標1	指標2	指標3
	指標名	起業支援事業参加者からの起業 者数（第2創業者を含む）	
	目標値	3件	
	R5実績値	4件	
	歳入増加額 （千円）	-	
	歳出削減額 （千円）	-	
	目標値が未達成 の場合、その理 由		

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	「IKOMA LOCAL BUSINESS HUB」の参加者に向けてアンケートを実施し、4名（新規創業：3名、第2創業：1名）が起業したと回答した。

II	歳入増につながる施策の創出、強化
----	------------------

【取組状況】

担当課	住宅課
取組名	空き家の流通促進と住宅のリノベーション

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	・いこま空き家流通促進プラットフォームに空き家情報を提供し、売却・賃貸につなげた。 情報提供：24件、成約：10件 ・オンライン移住相談窓口を開設し、住まい、子育て・教育、交通などの移住検討者からの相談にワンストップで答えた。相談者：18世帯（8世帯が転入済み） ・戸建て住宅を改修し賃貸した所有者に対し、戸建て住宅賃貸化促進奨励金を交付した。 交付件数：4件（うち3件に転入世帯が入居） ・ポータルサイト「good cycle ikoma」に中古物件のリノベーション事例や理想の住まいのを見つけ方に関する記事を掲載した他、DIY体験教室も開催した。		
実績・数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	空き家への転入世帯数（奨励金やプラットフォーム等の空き家関連事業）	
	目標値	8世帯	
	R5実績値	11世帯	
	歳入増加額（千円）	1,837	
	歳出削減額（千円）	-	
目標値が未達成の場合、その理由			

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	A：高い成果が得られた
評価の根拠	実績値が目標値を大きく上回ったため。

II	歳入増につながる施策の創出、強化
----	------------------

【取組状況】

担当課	農林課
取組名	プロ農家の確保育成と既存農業者の収入増につながる取組の推進

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	令和4年度より開始した「半農半X支援事業」は農業以外のことを続けながら農業を始めたい趣味的農家等のチャレンジを支援するための事業であるが、今後、同事業の利用者からプロ農家を目指す希望者が現れるなど、今後の農業者所得の向上につなげていく。		
実績・ 数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	プロ農家の人数	
	目標値	11人	
	R5実績値	8人	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成の場合、その理由	年に2回就農相談やフェア等で生駒での就農誘致等を行い、16人の相談を受けたが、就農には至らなかった。		

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	C：一定の成果が得られた
評価の根拠	半農半X事業が好評であることから、将来的にプロ農家の増加が見込まれるため。

II	歳入増につながる施策の創出、強化
----	------------------

【取組状況】

担当課	観光振興室
取組名	国内外からの観光客の呼び込み

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	着地型観光プログラムの参加者募集サイト「奈良県いこま遊び体験」を管轄している生駒市観光協会の所管が、令和6年1月に生駒市から生駒商工会議所に移管されたことに伴い、コンテンツの拡充及びPRについては生駒市観光協会が引き続き実施していくこととなった。 市の観光施策として、観光プロモーション事業「たけまるくんといこまめぐり」を実施し、市内外から約4,000名が参加し観光資源の周知及び市内消費喚起をすることができた。		
実績・数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	着地型観光プログラム体験者数	
	目標値	300人	
	R5実績値	242人	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成の場合、その理由	近鉄エリアキャンペーン期間中に展開された様々なコンテンツに需要が分散した。 また、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行したことにより、遠方への旅行需要が高まったため。		

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	着地型観光プログラム体験者数については、前年比85%程度の達成となったものの、観光プロモーション事業を実施した結果、市内外から約4,000名が参加し観光資源の周知及び市内消費喚起をすることができたため。

II	歳入増につながる施策の創出、強化
----	------------------

【取組状況】

担当課	財政課
取組名	ふるさと生駒応援寄附等を活用した寄附の促進

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税ポータルサイトの追加…4大ポータルサイトのうち、未導入の最後のひとつである「ふるなび」を新規に導入、9か月間で約1,360万円の寄附を獲得、新規寄附者の獲得につながった。そのほか「ふるラボ」「Yahooショッピング」も導入。 ・返礼品の充実…ポータルサイトの内容や返礼品を充実させ、寄附の獲得に励んだ。新規事業者に限らず既存事業者についても新規返礼品の登録を促し、600品目以上の返礼品を提供した。 ・ニュースレター等により寄附金の使途とその効果について寄附者に定期的にお知らせすることにより、寄附意識の向上を図った。 		
実績・ 数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	寄附金受領額	
	目標値	110,000千円	
	R5実績値	173,680千円	
	歳入増加額 (千円)	63,680	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成の場合、その理由			

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	人気返礼品の在庫が順調に確保でき、返礼品数も増やし充実させた結果、ふるさと納税における寄附獲得が目標値を上回った。

II	歳入増につながる施策の創出、強化
----	------------------

【取組状況】

担当課	財政課
取組名	歳入増につながる施策の創出、強化

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	・企業版ふるさと納税については、ホームページにおいて寄附募集内容を明確または詳細に掲載することで寄附がしやすくなるよう修正し、また寄附企業の紹介ページを充実するなどして積極的に寄附獲得に取り組んだ。 ・広告事業については、広報紙、ホームページ、コミュニティバス、市民課モニター広告、広告付庁舎案内板、庁舎周辺案内地図など安定した歳入確保の取組となっている。 ・ネーミングライツ事業についてはスポーツ施設4施設のネーミングライツを2法人と契約中であり、安定して収入を確保している。		
実績・数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	取組による収入額	
	目標値	8,600千円	
	R5実績値	12,468千円	
	歳入増加額 (千円)	3,868	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成の場合、その理由			

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	企業版ふるさと納税については予算額を上回る寄附を獲得し、広告事業・ネーミングライツ事業についても安定して収入を確保することができたため。 【参考】 ・企業版ふるさと納税 3件（うち1件は物品による寄附） 4,520,000円（前年度比1,470,000円増額） ・広告事業 6,737,512円（前年度比17,300円減額） ・ネーミングライツ事業 1,210,000円（スポーツ施設4施設）（前年度と同額）

Ⅲ	ファシリティマネジメントの推進
---	-----------------

【取組状況】

担当課	ファシリティマネジメント推進室
取組名	公共施設マネジメント推進計画に基づく公共施設の最適化

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	「公共施設マネジメント推進計画」及び「個別施設計画」に基づき、令和6年3月31日付でやまびこホールを廃止した。		
実績・ 数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	施設の廃止件数	
	目標値	1件	
	R5実績値	1件	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成 の場合、その理由			

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	計画に基づき施設を廃止したことで、財政負担の縮減・平準化に資することができたため。

Ⅲ	ファシリティマネジメントの推進
---	-----------------

【取組状況】

担当課	みどり公園課
取組名	公園灯のLED化

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	公園灯を計画的にLED照明に交換することにより、電気代やランニングコストの低減に繋がっている。		
実績・ 数値 目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	公園灯をLED照明にした基数	
	目標値	80基	
	R5実績値	13基	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	115	
目標値が未達成 の場合、その理 由	生駒山麓公園の新指定管理に向けた選定準備や、他の公園内施設の安全対策など緊急度の高い業務を優先して実施せざるを得なかったため、目標の新規LED化に至らなかった。更に、資材価格や人件費の高騰及び資材入荷に期間を要しLED化推進に歯止めがかかる結果となった。		

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	D：やや不十分な成果にとどまった
評価の根拠	目標値を大きく下回ったため、低い評価となっている。しかしながら若干ではあるが電気代の歳出削減には繋がった。現在は資材入荷状況が安定しつつある中で、令和6年度に生駒山麓公園の園内灯LED化を予定しており、加速的なLED化に繋げたい。

IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
----	------------------------

【取組状況】

担当課	広報広聴課
取組名	市ホームページの質の向上

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	CMSの委託事業者と協働で簡易アクセシビリティ調査（20ページ）を実施したところ91か所の課題があり、各担当課において全ページを修正した。同依頼を行うにあたって、庁内に対し、対象ページ以外においても、注意事項を周知した。その他、各課のページにおいて広報広聴課で気づいた部分については随時修正依頼を行い、アクセシビリティの向上に努めた。		
実績・ 数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	アクセシビリティ基準の達成割合	
	目標値	98.25%	
	R5実績値	94.53%	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成 の場合、その理由	総務省のJIS規格対応調査が偶数年度のみ実施のため、前年度と同値を記載している。		

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	C：一定の成果が得られた
評価の根拠	前年度末のページ数合計が8,933件、今年度末のページ数合計が9,344件であり、大きな増加は無く、指標の値についても大きな変動は無いものと思われる。また、簡易調査を行ったり、随時修正依頼をかけて対応したりしており、前年度と同じC評価とする。

IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
----	------------------------

【取組状況】

担当課	広報広聴課
取組名	多様なツールで情報発信

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	令和5年9月1日に、コロナ・ワクチン情報を配信していたLINEのリニューアルを行い、市政情報全般につながるSNSとしての運用を開始した。原則として週1回市政全般に関わるさまざまな情報を広報広聴課から配信している。令和6年3月31日現在で友だちが23,260人。 また、LINEの他にも、広報紙、市ホームページ、SNS（X、Facebook、YouTube、Instagram、note、ピアッツァ、）などを活用し、市政情報を配信した。		
実績・数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	SNSから市ホームページへの流入数	
	目標値	120,043アクセス	
	R5実績値	45,923流入件数 (TW:37,186、FB:6,470、Inst:2,267)	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成の場合、その理由	令和5年7月に解析システムが変わり、数字の条件が大きく変わったため（従来は、流入してからのビュー数もカウントされていたが、変更後は純粋な流入数のカウントに変わった。また、LINEからの流入が計測不可能になった等）。		

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	C：一定の成果が得られた
評価の根拠	従来同様の指標で検証することができなくなったが、令和5年9月のLINEリニューアルにより、LINEでの配信直後から市のリンクページが1,000~4,000ビュー増加しているページもあり、効果的に活用できていると考えている。今後は、新たな解析システムを基に成果を評価していく。

IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
----	------------------------

【取組状況】

担当課	地域コミュニティ推進課
取組名	市民自治協議会の設立に向けた支援とともに、市民自治協議会や準備会の活動支援

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	・市民自治協議会（あいさつタウン・南ネットワーク、やまびこネットワーク）及び準備会（中地区健康まちづくり協議会）の活動に対する補助金助成を行った。		
実績・ 数値 目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	準備会に対するワークショップ等の開催件数	
	目標値	3回	
	R5実績値	0回	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成の場合、その理由	当該準備会と開催に向けて調整を図ったが、日程が合わず、開催に至らなかったため。		

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	D：やや不十分な成果にとどまった
評価の根拠	令和5年度のワークショップは0回であったが、現在立ち上がっている2協議会及び1準備会への伴走支援を行っており、活発な活動につながっている。また、新規立ち上げに向けた取組も進めており、現在立ち上げに向けた準備や自治会からの相談等に対応している。今後も市民自治協議会を設立することにより得られる利益についての理解と関心を深めることを主とするワークショップの実施やまちづくり活動支援補助金の継続実施等を通じて、既存団体の継続的な支援及び新規立ち上げを図る。

IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
----	------------------------

【取組状況】

担当課	市民活動推進センター
取組名	コーディネート機能の充実による活躍の場の提供

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	ららポート関連団体が提供できるプログラムをまとめた冊子「おたすけ帳」を作成し、市ホームページに掲載するほか、毎年自治会や地域のサロン、他課の養成講座で配布することで、団体の活躍の場につなげた。また、ボランティア登録時に面談をしたり、募集内容を丁寧にヒアリングし現場を見に行ったりすることで、マッチングの精度をあげ、繰り返して相談してもらえるように努めた。		
実績・数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	マッチング相談件数	
	目標値	185件	
	R5実績値	165件	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成の場合、その理由	コロナは収束したものの、ボランティアやプログラム実施団体を受け入れる側の意識が回復していないと見込まれる。		

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	C：一定の成果が得られた
評価の根拠	コロナ拡大期（R2 41件、R3 70件）に落ち込んだ相談件数は順調に回復しており、高齢者施設へのアウトリーチ活動など、今後も積極的に周知・発信を強化していく。

IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
----	------------------------

【取組状況】

担当課	スポーツ振興課
取組名	総合型地域スポーツクラブの推進・支援

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	学校などを通じて、総合型地域スポーツクラブの存在や活動内容を広く知ってもらう周知啓発チラシの配布を行うことにより、クラブ認知度の向上を図るとともに、総合型地域スポーツクラブや各施設の指定管理者と連携して「いこまスポーツの日」を開催し、多くの市民にスポーツに興味・関心をもってもらいスポーツの裾野を広げることができました。また、学校部活動の地域移行に伴う国の実証事業を受託し、市内総合型地域スポーツクラブを実施主体として、4 T（多世代・多種目・多志向・多様性）クラブ、英語クラブの実施を行いました。また、吹奏楽においても、体験会を実施しました。		
実績・数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	総合型地域スポーツクラブ会員数	
	目標値	1,000人	
	R5実績値	1,013人	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成の場合、その理由			

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	会員数が前年度の981人からさらに増加し、目標値を上回る1,013人となったため。

IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
----	------------------------

【取組状況】

担当課	SDGs推進課
取組名	民間事業者等との協創の活性化に向けた対話窓口の設置

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	令和2年3月の協創対話窓口設置後、民間事業者等との連携事業実施に注力してきた。令和5年度は、提案件数の増加に加え、事業化率が大幅に向上した。連携事業についても地域課題を解決するものから、公共サービスの利便性向上につながるものまで幅広く実施した。 ・協創対話窓口への提案件数26件(昨年度比+4件)のうち16件が事業化し、事業化率が62%(同+21pt)に向上した。 <small>※2024年3月時点</small> ・協創ワークショップは、「地域の社会課題をビジネスと公民連携で解決する」をテーマに市職員を対象として開催し、35名が参加した。 ・公民連携のさらなる発展に向け、公民連携基本指針の素案を作成した。		
実績・数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	窓口への相談件数	
	目標値	2件	
	R5実績値	26件	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成の場合、その理由			

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	A：高い成果が得られた
評価の根拠	・窓口への提案件数の目標値2件に対して、26件の実績。（目標値との差分+24件） ・公民連携の庁内浸透による高い事業化率の実現。（事業化率62%、昨年度比+21pt）

IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
----	------------------------

【取組状況】

担当課	地域コミュニティ推進課
取組名	市民参画と協働のまちづくりの推進

【R5年度の取組】

成果につながったR5年度の取組	・生駒を愛する市民、市民団体、事業者、行政等の協働により行われる地元「いこま」の楽しい公共・公益イベントを「イコマニア・イベント」として認定し、広報や保険適用といった支援により事業実現を後押しした。 ・行政内部では、職員が「参画と協働」への深い理解に基づいて事業の実施ができるよう、①新規採用職員、②係長級以上の職員を対象とした研修を実施した。 ・将来の地域の担い手となる高校生を対象とした人材育成事業を実施し、事業内から派生した事業が開催された。		
実績・数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	参画と協働の事業数	
	目標値	300事業	
	R5実績値	-	
	歳入増加額(千円)	-	
	歳出削減額(千円)	-	
目標値が未達成の場合、その理由	令和5年度分の実績は今後調査を実施予定である。		

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	C：一定の成果が得られた
評価の根拠	新規採用職員や中級職員向けの研修を継続して実施しており、市職員へ参画と協働の理念や原則等の浸透を図っている。今後も、参画と協働による事業実施を促し、後押しする「イコマニア」の継続実施や多様な階層の行政職員に対する研修の継続実施、あらたな関係性の主体となる地域の高校生等の若者世代を巻き込む地域未来人材育成事業の実施等の事業を通じて、様々な世代へ参画と協働の理念の浸透を図り、参画と協働による事業数の増加を目指す。

IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
----	------------------------

【取組状況】

担当課	図書館
取組名	本を通じたコミュニティづくり、市民との協働事業の実施

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	新規に、生駒市に関する新聞記事を切り抜き、スクラップブックにまとめるボランティア活動が始動した。令和5年度中に出来上がった資料は23冊で、図書館の利用に供していく予定である。生駒の歴史を語る価値ある資料であり、今後も継続して活動を行う予定。このほか、子どもの読書推進やビブリオバトルに関する活動、図書館資料の修理に関する活動や、障がい者サービスに関する活動、鹿ノ台図書室の運営をサポートする活動、本棚のWAや未在亭等、市民と図書館が協働して様々な事業を行った。		
実績・ 数値 目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	図書館事業協働ボランティア団体数	
	目標値	15団体	
	R5実績値	15団体	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成の場合、その理由			

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	新しいボランティア団体が1団体増え、目標を達成することができた。引き続き、市民の活動の場となりコミュニティが生まれるような図書館となるように市民と協働しながら事業展開していきたい。

IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
----	------------------------

【取組状況】

担当課	市民活動推進センター
取組名	新たな市民活動の創出と活動支援

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	新たな市民活動を生み出すために、様々な講座や仲間を増やすための交流会等を実施した。 事業の参加者から、新たな市民活動が生まれ、市が伴走支援することで活動者の連携を促進した。 ・ 講座、交流会 （12回、145人）			
実績・ 数値 目標	指標1	指標2	指標3	
	指標名	市民のアイデアが元となって生まれた事業数		
	目標値	2事業		
	R5実績値	2事業		
	歳入増加額 (千円)	-		
	歳出削減額 (千円)	-		
目標値が未達成 の場合、その理 由				

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	地域で何かを始めたいと思っている人同士が交流会を通じて出会い、各々の特技や知識を活かした活動が生まれ、新たな交流を生み出した。

IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
----	------------------------

【取組状況】

担当課	広報広聴課
取組名	情報発信と交流促進による都市イメージの形成

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で多様な暮らし方・住まい方をする人のインタビュー記事や複合型コミュニティづくりの体験レポートなど、95件の記事を更新した。 ・いこまち宣伝部8・9期生の運営により、地域の魅力を発掘・発信する人を育成し、市のSNSで市民による記事を200件、行政による記事を129件発信した。 ・いこまちマーケットやまちの交流会「つどい」を開催し、参加者の推奨意欲・参画意欲・感謝意欲を向上させた。 		
実績・ 数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	ポータルサイト「good cycle ikoma」閲覧数	
	目標値	95,000件	
	R5実績値	168,505件	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成の場合、その理由			

<総合評価>

【担当課の自己評価】
広報広聴課

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	A：高い成果が得られた
評価の根拠	ポータルサイトを中心に市民協働で情報発信を行った結果、指標1の目標値を大きく上回った。

V	時代に対応できる柔軟で連携のとれた機能的な組織づくりと人材育成の推進
---	------------------------------------

【取組状況】

担当課	企画政策課
取組名	柔軟で機能的な組織の構築・庁内連携の推進

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	地域共生社会推進全国サミットinいこまの推進や2025大阪・関西万博の開催に伴う取組など、部門横断的に対応すべき複合的な行政課題等に対してプロジェクトチームを設置し、庁内が一丸となって取り組むことで専門的な知見を活かしつつ迅速に対応することができた。また、DX推進本部では、デジタル技術やデータの活用による地域、市民サービス及び行政のデジタル変革等の取組を推進し、市民の利便性向上及び行政運営の効率化を図るため、部長級の職員を中心に、DXに関する重要事項及び総合調整に関する事項や、DXに精通した人材の育成に関する事項などについて協議・調整を行った。		
実績・ 数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	プロジェクトチームによる事業実施件数	
	目標値	2件	
	R5実績値	3件	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	-	
目標値が未達成 の場合、その理由			

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	指標の実績にも現れている通り、複雑多様化する行政課題等に対して部門横断的な複数の組織を立ち上げ、効率的かつ迅速に対応することができた。一方でグループウェア等を活用した組織内での情報共有は十分とは言えない状況であり、今後改善を検討する必要がある。

V	時代に対応できる柔軟で連携のとれた機能的な組織づくりと人材育成の推進
---	------------------------------------

【取組状況】

担当課	デジタルイノベーション推進課
取組名	AIやICTを活用した業務の効率化

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	令和5年9月にChatGPTの実証実験を開始し、文書作成業務の効率化等有効な利用方法やリスクについて検討を行い、職員に対し勉強会や利活用事例資料を配布する等した。 利用職員数：115人 入力回数：2,037回 なお、令和6年夏頃実証実験の結果を公表する予定である。		
実績・数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	デジタル化による業務効率化	
	目標値	1件	
	R5実績値	1件	
	歳入増加額 (千円)	-	
	歳出削減額 (千円)	-	
	目標値が未達成の場合、その理由		

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	目標のとおり1件の取組を行い、業務効率化に資する取組であったため。

V	時代に対応できる柔軟で連携のとれた機能的な組織づくりと人材育成の推進
---	------------------------------------

【取組状況】

担当課	人事課
取組名	持続可能でより適正な職員数の管理及び会計年度任用職員の適正管理

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	市の実働職員数の増加要因(定年延長、退職派遣、新規採用)と減少要因(退職、介護休暇、出産休暇・育児に係る休業、病気休暇等)に加えて、職員のメンタルヘルスへの配慮及びワーク・ライフ・コミュニティ・バランスの推進を図るため、適切な職員配置、適正な職員数と年齢構成の管理を踏まえて、第5次生駒市定員適正化計画の策定を進めた。			
実績・ 数値目標		指標1	指標2	指標3
	指標名	正職員の実働職員数（毎年4月1日付）	会計年度任用職員に係る人件費及び費用弁償の決算額（公営企業会計及び障がい者枠を除く）	
	目標値	800人	令和4年度決算額 前年度未満	
	R5実績値	802人 （令和6年4月1日時点）	見込 1,301,457千円 （目標値 1,272,129千円）	
	歳入増加額 （千円）	-	-	
	歳出削減額 （千円）	△7,000千円	△29,328千円	
目標値が未達成の場合、その理由	令和5年度からの定年の引上げと、定年引上げ期間においても年齢構成の平準化を図るため、職員を継続的に確保したため職員数が増加した。	給与改定に伴う会計年度任用職員の給与引き上げにより増加した。		

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	C：一定の成果が得られた
評価の根拠	行政需要の増大や市民ニーズの多様化が見込まれるなか、定員適正化計画を見直し、令和6年度以降に向けて適正な職員管理を行った。

V	時代に対応できる柔軟で連携のとれた機能的な組織づくりと人材育成の推進
---	------------------------------------

【取組状況】

担当課	人事課
取組名	「人材育成基本方針」に基づく人材育成の推進

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	VMVを軸とした人事評価制度の運用等を引き続き行うとともに、新たに部下が上司モニタリング制度を実施した。 職員研修においては、課長を対象とした課長級特別研修を実施するとともに、入庁4年目職員を対象とする課題発見解決研修を新規で行うなど、VMV浸透のための研修を行った。 また、積極的に若手職員を係長級に登用するなど、適材適所の人事配置を行った。			
実績・ 数値 目標	指標1	指標2	指標3	
	指標名	VMVを理解・実践している職員の割合	自分の能力を発揮できていると思う職員の割合	
	目標値	前年度以上	前年度以上	
	R5実績値	70.5% (R4実績 64.2%)	71.0% (R4実績 73.8%)	
	歳入増加額 (千円)	-	-	
	歳出削減額 (千円)	-	-	
目標値が未達成の場合、その理由	前年度実績と比べ、大きく減少しているわけではないが、目標値を達成できるよう、今後も適材適所の人事配置に努める。			

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	C：一定の成果が得られた
評価の根拠	VMVを理解・実践している職員の割合は増加しており順調と考えるが、自分の能力を発揮できていると思う職員の割合を増やすよう、引き続き適材適所の人事異動に努めなければならないため。

V	時代に対応できる柔軟で連携のとれた機能的な組織づくりと人材育成の推進
---	------------------------------------

【取組状況】

担当課	人事課
取組名	職員採用活動の強化

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	職員の年齢構成のばらつきや年度ごとの退職者数等を考慮して採用計画を策定し、生駒市のVMV（ビジョン・ミッション・バリュー）にフィットした人材を採用するため、VMVを採用試験の面接評価項目に反映した。また、求める人物像を明確化した上で内定者とも面談して入庁前後のギャップ解消と共に辞退者数を減らし、必要な職員数を概ね確保した。			
実績・数値目標	指標1	指標2	指標3	
	指標名	各年度の4月1日付け採用者数		
	目標値	令和4年2月に決定する採用者数		
	R5実績値	R5年4月1日付採用者数 45人 (目標値：36人)		
	歳入増加額 (千円)	-		
	歳出削減額 (千円)	-		
目標値が未達成の場合、その理由				

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	新卒卒と社会人卒での採用活動を強化して、市の方針に共感する人材を常勤・任期付き短時間・会計年度任用職員等、多様な任用形態で確保できた。

	財政規律を確保するための財政指標の目標値設定
--	------------------------

【取組状況】

担当課	財政課
取組名	財政指標の目標値の設定・管理

【R5年度の取組】

成果につながった R5年度の取組	物価高騰や人件費の上昇により歳出は増加したが、想定より基準財政収入額が少なかったことや国税収入の増に伴う普通交付税の追加交付等があり、普通交付税が増えたことで健全な財政を維持できました。		
実績・ 数値 目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	経常収支比率	実質収支比率
	目標値	95.20%	5.0%
	R5実績値	見込 92.4%	6.6%
	歳入増加額 (千円)	-	-
	歳出削減額 (千円)	-	-
	目標値が未達成 の場合、その理 由	比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいることを示しており、目標を達成しています。	ほぼ目標値に近い数値となり、適正な数値となっています。

<総合評価>

【担当課の自己評価】

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	経常収支比率は、目標よりも良好であり、実質収支比率もほぼ目標値となったため。